



東日本大震災からの教訓を後世に伝えるために

～震災の記憶のない子どもたちが多く在籍するようになり～

校長 高野 康一

児童会活動で「まちづくり」に貢献しようと、あいさつ運動を展開しています。本校のシンボルツリーである「ぶどうの木」のように、挨拶を通して人と人がつながることを願って取り組んでいます。その名も「ぶどうプロジェクト」と名付けて、「地域と一緒に挨拶とありがとうでまちづくり」のテーマで学級ごとに工夫して取り組んでいます。

11月7日に開かれた地域の会議に出席した際に「地域で柏っ子の明るい挨拶が、いっぱい聞かれるようになりました」「目を合わせて丁寧にあいさつしてくれる子どもたちです」などのお話を伺いました。北風の吹く中ですが、「お早うございます」「行ってまいります」「さようなら」「ただ今」の挨拶が、ご家庭で、柏崎地区で広まっていくことを願っています。二学期も早いものでひと月足らずとなりました。柏っ子は、二学期の学校生活を振り返りながら、学習と生活のまとめに頑張っております。

◇ 11/5(日)「八戸市小学校音楽祭」～♪5年生が「ぶどう」の心で寄り添って♪～

秋の陽射しに輝きながら、三八城公園の銀杏の葉がひらひらと舞い落ちる静かな日曜の朝でした。本校5年生107名は、学校を代表して公会堂で開催された第56回八戸市小学校音楽祭に出演しました。会場には、保護者の皆様をはじめご家族の皆様が大勢足を運んでくださいました。心より感謝申し上げます。類家真由美先生の指揮、中村文先生と及川紗季さんの伴奏で音楽会で歌った「Let's search for tomorrow」と「地球星歌～笑顔のために～」を合唱しました。胸には手造りのぶどうのブローチをつけた柏っ子が歌い始めると、会場の方々がその歌声に引き込まれていきました。子どもたちの熱い思いが会場の皆さんに伝わっていったことが分かりました。季節は秋から冬へと移っていきます。このステージに立った5年生が、学校のリーダーとして6年生からバトンを引き継ぐ時が近づいています。



◇ 11/9(木)津波を想定した避難訓練～11月5日は「津波防災の日」です～

11月5日は「津波防災の日」です。2011年に発生した東日本大震災から3か月経った同年6月に国民の命を守るための法律が制定され、この日を「津波防災の日」としました。11月5日は「安政南海地震」の発生した日です。前日には「安政東海地震」も発生しています。「稲村の火」のお話でご存知の方も多いと思います。

そこで、本校では青葉の地に移転してから津波対応の避難訓練を実施しております。

一時的な避難場所としてお願いしている玄中寺まで、全校児童が歩いて移動しました。津波の際には高い所へ避難することを、体を通して学ぶ機会としています。また、玄中寺までの経路の理解と所要時間等を確認しました。移動の途中では、類家交番並びに交通安全協会柏崎支部のご協力も得て実施しました。訓練でかかった時間等をもとに、玄中寺への移動か、本校に残り校舎の2階より上の階への移動かの判断の目安としています。今回は防寒着を着て校庭までの避難に5分30秒、校庭から玄中寺までに先頭が12分30秒かかりました。校庭から玄中寺に全員が到着したのに要した時間は20分でした。

学校では、「自分の命は自分で守る」ために、次のことを心掛けるよう指導しています。

- ①日頃から話(放送も含む)を一度でしっかり聞く。
- ②登下校などでは、自分の目や耳などを使って安全をしっかりと確認する。
- ③体力づくりや望ましい生活習慣づくりで健康な体を保つ。
- ④修学旅行や町探検等では、その場所の海からの高さや高台等のある方向を確認する。



ご家庭におかれましても、ご協力をお願いします。さらに、津波の際の対応について「防災ノート」も活用して話し合っただけであればと思います。なお、本校は第三中学校等と同様に、「津波避難ビル」(避難所ではありません)に指定されており、校舎の東側の上部に「津波避難ビル」を示すマークが設置されています。津波到達までに高台等の浸水想定区域外に逃げるのが難しいと判断された場合の緊急・一時的な避難場所です。